

# 特別委員会の報告

## 市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会

本委員会に付託されている市役所本庁舎及び市民会館等建替え調査、研究について報告する。

去る9月27日、10月25日、11月22日および12月9日に委員会を開催し、次の項目について協議した。  
【市役所本庁舎及び市民会館等建設について】

建設費用の価格変動の状況は、基本設計を作成した今年1月から5月までと現在を比較すると、大きく環境が変化している。国の政策により、労務賃金は約15%の値上げが発表され、消費税増税を見込んだ駆け込み需要、東北被災地への復興予算による建設需要、東京オリンピック開催決定による整備計画など建設需要に供給が追いつかない状況である。また、建設価格の上昇により、本庁舎及び市民会館の建設費増額が予想される。そのため、市は「市役所本庁舎及び市民会館」の建設費が大幅に増額される場合には、早い段階で市民へ公表を行い、説明責任をはたし、市民の理解を得ること、という意見を本委員会の最終意見として付した。

【市役所本庁舎及び市民会館等建替え調査特別委員会の終結】

本委員会は、秩父宮記念市民会館、市役所本庁舎の老朽対策、旧秩父セメント(株)第一工場跡地の活用、財政状況、公共施設の統廃合の必要性などの調査を目的とし、平成22年12月定例会の最終日に設置され、委員会を25回、秩父市役所本庁舎等建設市民会議意見交換会を2回開催し、調査事項30件、議長の諮問事項17件、計47件を調査・検討および審査し、平成25年12月定例会で終結とした。

### ●市役所本庁舎及び市民会館実設計の進捗状況について

① 「庁舎はコンパクトに、市民ホールは可能な限り機能の充実」をコンセプトに、実設計を進めている。

② 建物の外観は、西日対策として、1・2階西側は腰壁を設け、引き違い窓と縦ルーバー(羽板)を設置。3・4階は西側を縦長窓(片開き窓)にして、できるだけ西日の侵入を制御する。

③ 1階平面中央部には「光庭」を設けて、自然採光の取入れと、この空間を利用した自然換気を行い、省エネを図る。夏の時期には、夜間の冷気を室内へ導き入れて冷やす仕組みや武甲山伏流水を環境や防災面で活用する設計も進めている。

## 一般質問

### 市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです(質問順に掲載)。

<p>① 金田 安生 (彩政会)</p> <p>1 彩政会の政策提言</p> <p>2 個人情報管理と特定秘密保護法案の関係</p>	<p>⑥ 荒船 功 (市民クラブ)</p> <p>1 企業誘致に向けた取組</p> <p>2 有害鳥獣対策の推進</p> <p>3 学童保育室の現状</p> <p>4 大野原地内国道の歩道設置</p>	<p>⑪ 福井 貴代 (公明党)</p> <p>1 健康寿命延伸のために</p> <p>2 産科の現状と今後</p> <p>3 BMXでちちぶの夢づくり</p>
<p>② 小池 治 (彩政会)</p> <p>1 政策提言・企業誘致、企業育成</p> <p>2 政策提言・商店街再生と買物難民支援</p> <p>3 政策提言・公共施設に木材利用</p> <p>4 転ばぬ先の杖、計画的危機管理対策</p>	<p>⑦ 笠原 宏平 (市民クラブ)</p> <p>1 道路網の整備</p> <p>2 教育の充実</p>	<p>⑫ 新井 康一 (日本共産党秩父市議団)</p> <p>1 市役所本庁舎・市民会館建設</p> <p>2 こども医療費補助の対象年齢の拡大を</p> <p>3 一本杉峠道路の見通し</p> <p>4 福島原発事故から2年半が経過して</p>
<p>③ 五野上 茂次 (彩政会)</p> <p>1 彩政会政策提言</p> <p>2 特養老人ホームの現状</p> <p>3 市の有形・無形文化財</p> <p>4 観光政策</p>	<p>⑧ 竹内 勝利 (市民クラブ)</p> <p>1 森林管理道</p> <p>2 秩父の農業</p>	<p>⑬ 山中 進 (日本共産党秩父市議団)</p> <p>1 高齢者世帯への粗大ゴミの処理支援</p> <p>2 道の駅大滝および公衆トイレの洋式化</p> <p>3 民商・食品環境衛生協会支部へ支援助成</p>
<p>④ 高野 宏 (彩政会)</p> <p>1 滞在型観光・通年観光政策</p> <p>2 主要道・生活道路等の整備</p> <p>3 公共施設の再整備</p> <p>4 合併の検証</p>	<p>⑨ 落合 芳樹 (市民クラブ)</p> <p>1 メガ太陽光発電プロジェクトの現状</p> <p>2 芝桜の丘の活性化事業</p> <p>3 水道広域化の推進</p> <p>4 教育委員会の現状と市長の考え</p>	<p>⑭ 金崎 昌之</p> <p>1 実効性ある産科医療・雇用施策を</p> <p>2 てんぶら油再生事業で障がい者雇用を</p> <p>3 婚活支援事業「街コン」の経済効果は</p> <p>4 紙おむつ支給に所得制限の撤廃を</p>
<p>⑤ 出浦 章恵 (日本共産党秩父市議団)</p> <p>1 県条例違反の田村地内の土砂たい積</p> <p>2 人間ドック補助増額を</p> <p>3 病中・病後児保育</p>	<p>⑩ 斎藤 捷栄 (日本共産党秩父市議団)</p> <p>1 24時間無料電話健康相談制度導入</p> <p>2 聖地公園の利活用</p>	<p>⑮ 上林 富夫 (新風)</p> <p>1 危機管理</p> <p>2 ふるさと祭り2014</p> <p>3 市有地太陽光発電事業者の現状</p> <p>4 市関係者の外国訪問</p>

※ 市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

# 一般質問

## 彩政会政策提言①



彩政会 かねた やすなり 金田 安生

混沌とした時代の真只中にある日本経済はアベノミクスと呼ばれる新たな政策によってインフレ経済に舵を切りました。新聞等のニュースを総合するとお金持ちは更に資産を増やし、お金の無い庶民の暮らしは物価上昇で今まで以上に苦しくなりそうな雰囲気です。

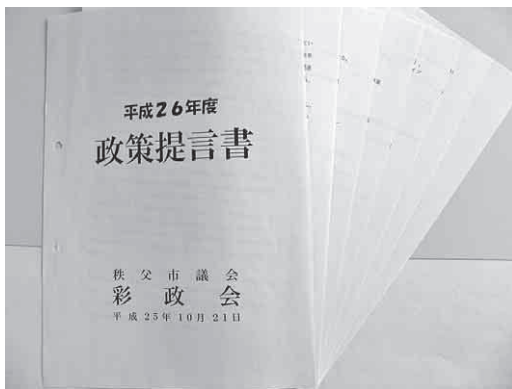
彩政会は、与えられた条件の元に市民の利益に繋がる、政策の実現に向けた行動ができるか、持てる知恵を結集して貢献したいと考えております。この度も昨年に引き続き喫緊の課題も含め、直面する各分野の政策について彩政会4名が分担して提言します。

### ●行財政改革について

**問** 鉄筋コンクリート造りの市が作った建物は、およそ40年で建替えになる。民間で造り管理している建物は100年以上経っても問題は起きない。その差はどこにあるのか専門家に聞いて見ると、どうも日常管理がされているかどうか大きな違いを生むらしい。そこで各部署で管理している建物を、一括管理できる専門の課を市組織の中に新規設置したらどうか。定

期的なメンテナンスで長持ちさせれば新たに造るより経費は安く済むと思うのだが。

**答** 現在、市の管理する建物等の資産がどんな状態になっているのか調査中である。その後に組織の見直しの際検討していく。



彩政会の政策提言書

- ◎合併後の職員配置問題
- ◎第3セクターを含めた補助金事業の大胆な見直し
- ◎ふるさと納税の推進

## 彩政会政策提言②



彩政会 こいけ おさむ 小池 治

**問** 「セメントプラント跡地へ」、に象徴される企業誘致活動の現況と、誘致部隊の陣容や4町との連携など進捗はどうか。

**答** 以前より働きかけを行っていた企業とも継続中であるが、進出のタイミングを計っているようだ。誘致活動戦力を、外部機関も活用しアンケート調査等ノウハウを利用しつつ、1市4町の産業担当者による定期的会議も開催している。

**問** 商店街再生については、旧国際劇場の改築など施策が実行されたが、商店街再生と買物難民支援の現況とランドデザインは。

**答** 市の中心市街地は6つの商店街で形成されているが、自主的、創造的で、やる気・意欲がある商店街を積極的に支援していくし、買物弱者対策も進展しつつあるが、更に運営の財政的支援や開催場所の提供、PR、広報等で支援する。

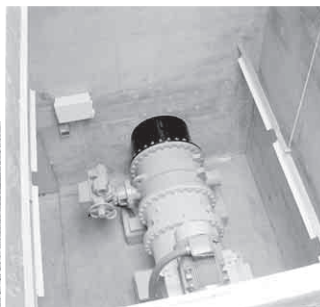
**問** 公共施設に木材利用を図るために、施工例の見学会、木材の劣化防止対策などの実施はどうか。

**答** 秩父産木材の市役所本庁舎への利用について検討している。各種の制約により構造材への利用は難しいので内装を検討。伐採見学

会では実施中、劣化対策したものは、既に市販されているので検討する。

**問** 防災井戸設置の経緯と現状および飲料水の給水体制について

**答** 当市では、平成9年より防災井戸を指定。しかし平成21年より水質検査を実施していない。今後再度所有者と協議していく。



小水力発電設備



- ◎クリーンエネルギー対策
- ◎耕作放棄地の活用
- ◎有害鳥獣対策



# 一般質問

## 彩政会政策提言③



彩政会 五野上茂次  
このかみ しげじ

**問** 教育環境整備についてお聞きしたい。将来に向けた超少子化に対応する、計画的な学校再編成、夏場の教室の温度管理、高篠・吉田中・尾田蒔小の校庭の整備は。

**答** 現時点では地域の実情を勘案し、個別に対応していく。耐震化が終了した後の平成27年度以降に、関係者の意見を伺いながら対応を検討していく考えである。

**問** 医療・福祉関係（スポーツ振興による市民健康作り・高齢者障がい者の生活サポート・市立病院の地域医療支援）について、おたずねする。

**答** 市では市民の皆さんが健康で明るく生活を営むためペタンク競技やウォーキング等、誰でも手軽にできるスポーツを推奨している。そして、各種スポーツ大会の誘致も推進していく。障がい者の移動支援として生活サポート事業の利用時間を1時間から、30分単位に利用頻度を高めたため、利便性が図られた。

**問** 特別養護老人ホームの現状について、民間を含む待機者対策、また今後の方向性、そして将来あるべき姿についておたずねする。

**答** 25年4月1日現在、234人となっている。26年4月事業開始を目標に地域密着型特別養護老人ホームが1施設29床分を建設中である。今後、第6期介護保険事業計画を定めることとなるが、施設整備を行うと介護保険料に反映されるので、広く意見を聞きながら計画を検討していきたい。



修繕が必要な市の文化財収納庫  
笠鉾蔵（栃谷本町）

- ◎市立病院の地域医療支援
- ◎市の有形・無形文化財について
- ◎観光政策について

## 彩政会政策提言④



彩政会 高野 宏  
たかの ひろし

**問** 滞在型観光・通年観光政策について、新たな観光資源開発を担当する広域的戦略チームの設置は。

**答** 秩父地域では、1市4町が連携し「秩父地域おもてなし観光公社」を設立し滞在型観光・外国人誘客の推進を柱とした観光政策を進めており、今後組織強化も検討している。また、戦略チームについては、政策的に進めているジオパーク、アニメトリズム等の観光事業については、NPO団体や有識者を交えた協議会や実行委員会を組織し事業展開を図っている。今後も先進事例を参考にし「おもてなし観光」を積極的に推進していく。

**問** 主要道整備について、秩父皆野バイパス延伸に伴い市内よりの接続道路として、長尾根トンネルの早期着工が望まれるが。

**答** 県に対して、毎年早期事業化を要請しており、今後も国土交通省並びに埼玉県選出国會議員に対しても継続して要望を行う。

**問** 国道299号（相生町）秩父橋間）歩道整備の進捗状況は。

**答** 県に伺ったところ、既に一部区間の用地測量が完了しており、

これらの物件調査を行い、今年度一部用地買収を行う予定であるとのことであった。



あの花の舞台になった札所17番

- ◎公共施設の再整備について
- ◎合併の検証について
- ◎公共施設等の喫煙所について
- ◎羊山公園の羊について
- ◎平成26年度職員採用について

# 一般質問

## 田村地内の土砂たい積の搬出状況は

日本共産党秩父市議員

出浦 章恵



**問** 県条例違反の田村地内土砂たい積の搬出状況と住民の不安に配慮する指導はどうなっているのか。

**答** 25年6月9日以降搬出が行われていない。それまでの搬出量は全体の土砂超過量3万9千378㎡に対し、合計搬出量が9千928㎡、率にして25・2%。搬出土砂の確認は事業者から提出される報告書に添付されている土砂受け入れ先伝票で行っている。事業者は8月21日に計算上の搬出完了届を提出。9月13日に取り下げている。これに対し、秩父環境管理事務所から9月30日付で勧告を受けている。勧告内容は、事業者が報告した搬出量は超過土砂量には到達しておらず、事業者の言うように是正が完了したとは認められないため許可通りに土砂の搬出をするようにというもの。

## 病中・病後児保育

**問** アンケートはいつ行う考えか。10月から平成27年度本格施行

予定の「子ども・子育て支援新制度」に伴い、市の「子ども・子育て支援計画」策定進行中。現在児童約3千人、0歳から2歳までは任意に5百人を抽出、保育所・幼稚園児は全員、学童生徒全員の保護者を対象に病中・病後児保育の必要性に関する調査項目を盛り込んだニーズ調査を実施している。調査分析結果は年度末に公表予定。



お昼寝前の読み聞かせに聞き入る、くわの実の年長さんたち

## 企業誘致のための用地確保について

市民クラブ

荒船 功



**問** 議員連絡会で秩父みどりが丘工業団地を訪問した際、区画全部が埋まり700人が働いているとうかがった。工場増設の余地はないようで緑地帯を駐車場にできないか。

**答** また、市内に企業誘致をする用地を確保しておく必要があるのではと言われたが市の考えは。

秩父みどりが丘工業団地については、平成23年のみどり化学㈱の進出により全ての区画が契約済みとなっている。

現況で未利用となっている部分が一部あるが、それらについては既に進出している企業により、将来の拡張に備えた用地等として確保されたものであると聞いている。

新たな立地の受け皿となる用地情報の確保・充実が急務となっているが、市では、並行して、既存工場敷地の最大限の活用を支援するため、工場の緑地面積率等に関する規制の緩和に向けた検討を進めている。

規制の緩和により、これまで緑地としていた部分一部を駐車場用地等として活用することができるようになる等、既存工場の増強や



秩父みどりが丘工業団地

新たな設備投資を呼び込む効果があると見込んでいる。用地情報の確保についても、民間業者の情報の活用、職員による用地開拓活動等により、積極的に情報の収集・確保を進めていきたい。